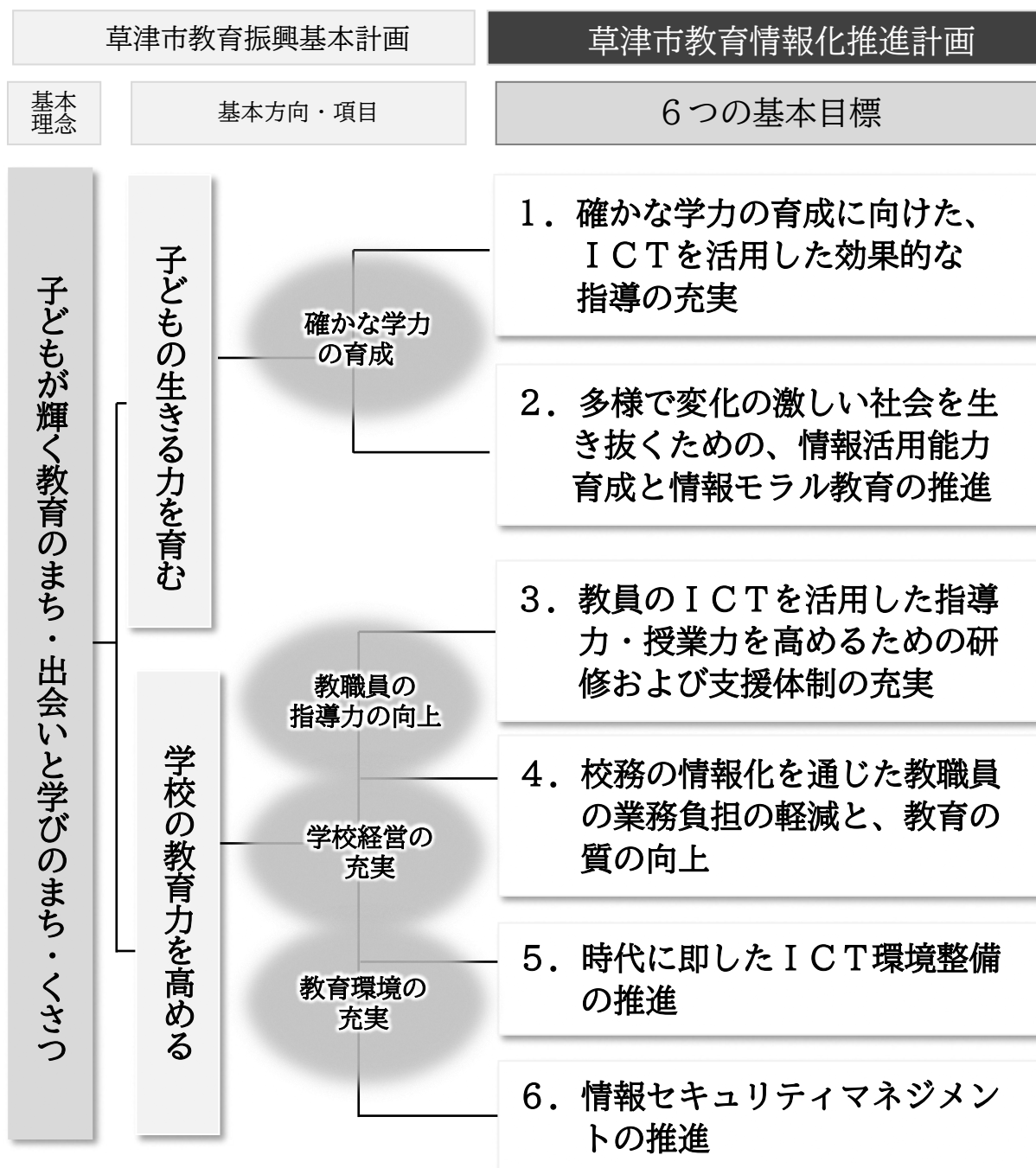


1. 基本目標

本計画では、第1期計画における「ICTを活用した効果的な教科指導方法の確立とその定着」「確かな情報活用能力を育成するための体系的な情報教育の推進」「校務の情報化を通じた教育の質の向上」「特別支援教育におけるICTの活用促進」「ICTを活用した家庭教育の推進と家庭・地域との連携強化」「教員のICT活用指導力や授業力を高めるための支援体制の充実」「計画的な環境整備による費用対効果の最大化」「情報セキュリティマネジメントの推進」の8つの基本方針を組み合わせ、草津市教育振興基本計画の基本理念および基本方向の下に次の6つの基本目標を設定しました。



## 2. 施策体系

教育振興基本計画	基本目標（案）	実施事業（案）
基本方向1 子どもの生きる力を育む	1 確かな学力の育成に向けた、ICTを活用した効果的な指導の充実	(1) 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用
		(2) New草津型アクティブ・ラーニングの推進
		(3) デジタル教科書を活用した個に応じた指導改善
		(4) 特別な支援や配慮を要する児童生徒に対するICTを活用した個別最適な学びの推進
		(5) 効果的で工夫あるプログラミング教育の推進
		(6) オンライン学習・遠隔授業による学びの充実
		(7) 学習履歴（スタディ・ログ）等の教育ビッグデータを活用した個別最適な学びの検討
		(8) 非常時における学びの保障
	2 多様で変化の激しい社会を生き抜くための、情報活用能力の育成と情報モラル教育の推進	(1) カリキュラムマネジメントによる情報活用能力の育成
		(2) 全教科等、生徒指導との連携を図った情報モラルに関する指導の充実
基本方向2 学校の教育力を高める	3 教員のICTを活用した指導力・授業力を高めるための研修および支援体制の充実	(1) ICT活用推進リーダーの育成
		(2) ICT支援員の配置
		(3) ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーによる授業力の向上
		(4) 教員間におけるICT活用格差の解消
		(5) 校内研修が計画的に実施されるための支援体制の確立
	4 校務の情報化を通じた教職員の業務負担の軽減と、教育の質の向上	(1) 校務支援システムの利用推進による校務の効率化と負担軽減
		(2) 学校・保護者・地域との連携手段のデジタル化の推進
		(3) 授業改善、連絡・相談のための教職員のネットワーク化
	5 時代に即したICT環境整備の推進	(1) 学習者用コンピュータの1人1台整備と適切な維持管理
		(2) 液晶型電子黒板の持続的な配備
		(3) 教育ネットワークにおける快適なネットワーク環境の維持管理
	6 情報セキュリティマネジメントの推進	(1) 情報セキュリティマネジメントの推進

## 第2期教育情報化推進計画の方針案

第1期計画

基本方針	取組方策
1 ICTを活用した効果的な教科指導方法の確立とその定着	・草津型アクティブ・ラーニングの全市展開
2 確かな情報活用能力を育成するための体系的な情報教育の推進	・系統表を踏まえた年間指導計画の策定とその実践

→【1】

→【2】

第2期計画

教育振興基本計画	基本目標(案)	実施事業(案)	実施事業目的(案)
基本方向1 子どもの生きる力を育む	1 確かな学力の育成に向けた、ICTを活用した効果的な指導の充実	1 各教科等の指導におけるICTの効果的な活用	各教科等の特質や学習過程を踏まえて、教材・教具や学習ツールの一つとしてICTを積極的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善につなげる。
		2 New草津型アクティブ・ラーニングの推進	児童生徒が、1人1台の端末を文房具のように「いつ・どのように使うか」を主体的に選択・活用しつつ、自ら問題を発見しその解決に向けて主体的・協働的に学ぶ授業を展開することで、児童生徒の学習意欲を引き出し学びの質を深める。
		3 デジタル教科書を活用した個に応じた指導改善	動画や拡大、書き込み機能など聴覚や視覚を支援するデジタルならではの機能を授業の適材適所に活用することで、児童生徒の主体的な学びや個別最適な学びを支援する。
		4 特別な支援や配慮を要する児童生徒に対するICTを活用した個別最適な学びの推進	1人1台の端末を活用して個々の児童生徒の習熟度・理解度に合わせた教材を提供することや自宅等でのICT活用等多様な学習機会を確保することで、個々の状況に応じた段階的な支援の充実を図る。
		5 効果的で工夫あるプログラミング教育の推進	各教科においてコンピュータに意図した処理を行わせるプログラミングを体験しながら、発達段階に応じた論理的思考力を身に付ける。
		6 オンライン学習・遠隔授業による学びの充実	学校の外の世界と教室をつなげ、学校の外にいる相手との学習機会を確保、対話・交流をすることで、児童生徒の多様な体験活動を充実させ、児童生徒の学びを深める。
		7 学習履歴(スタディ・ログ)等の教育ビッグデータを活用した個別最適な学びの検討	個々の学習履歴(スタディ・ログ)や教育ビッグデータの効果的な収集・蓄積・分析方法、活用を検討し、きめ細かい指導の充実や学習の改善につなげる。
		8 非常時における学びの保障	感染症や災害等の非常時にやむを得ず学校に登校できない児童生徒に対する学習指導について、自宅等においてもICTを活用して学習を継続できるよう環境を積極的に整えることで、児童生徒の学習機会の確保・充実を図る。
2 多様で変化の激しい社会を生き抜くための、情報活用能力の育成と情報モラル教育の推進	2	1 カリキュラムマネジメントによる情報活用能力の育成	カリキュラムマネジメントを通じて教科横断的に、すべての児童生徒がそれぞれの発達段階に応じて、情報技術を手段として学習や日常生活に活用できる力を育成する。
		2 全教科等、生徒指導との連携を図った情報モラルに関する指導の充実	児童生徒が、道徳科や特別活動のみならず各教科や児童生徒会活動を通して、ルールやマナー、法律があることを理解し、情報社会で適切な行動を行うための基になる考え方や態度を育成する。

3	校務の情報化を通じた教育の質の向上	・校務支援システムの活用による校務の効率化  ・総合教材ポータルサイトの充実と活用の促進	→【4】	基本方向2 学校の教育力を高める	3	教員のICTを活用した指導力・授業力を高めるための研修および支援体制の充実	1 ICT活用推進リーダーの育成	各学校におけるICT活用、プログラミング的思考の育成、情報活用能力の育成等に関する校内研修をマネジメントするリーダーを育成する。
	4	特別支援教育におけるICTの活用促進	・特別支援教育におけるiPadの活用促進と学習用ソフトウェアの充実			→【1】	3	ICTスーパーバイザー、スキルアップアドバイザーによる授業力の向上
5		ICTを活用した家庭教育の推進と家庭・地域との連携強化	・家庭学習用ドリルコンテンツの普及促進  ・学校ホームページのユニバーサルデザイン化			→【1】、【4】	4	校務の情報化を通じた教職員の業務負担の軽減と、教育の質の向上
	6	教員のICT活用指導力や授業力を高めるための支援体制の充実	・教員のICT活用指導力向上に向けた教職員研修の実施  ・ICT支援員による学校サポート体制の構築		→【3】	2	学校・保護者・地域との連携手段のデジタル化の推進	学校と保護者・地域等との連携手段のデジタル化を推進することで、双方の利便性の向上と負担軽減を図る。
7		計画的な環境整備による費用対効果の最大化	・コンピュータ教室における可動式コンピュータの導入整備  ・普通教室における液晶型電子黒板の更新整備  ・普通教室における(常設)無線LAN環境の整備		→【5】	5	時代に即したICT環境整備の推進	3 授業改善、連絡・相談のための教職員のネットワーク化
	1 学習者用コンピュータの1人1台整備と適切な維持管理							故障や児童生徒増による学習者用コンピュータの不足に適切に対応し、維持管理を行うことで、「New草津型アクティブ・ラーニング」を推進できる環境を維持する。
	2 液晶型電子黒板の持続的な配備							故障や学級増による電子黒板の不足に適切に対応し、維持管理を行うことで、「New草津型アクティブ・ラーニング」を推進できる環境を維持する。
8	情報セキュリティマネジメントの推進	・情報セキュリティ対策の見直しとマネジメント水準の向上	→【6】		6	情報セキュリティマネジメントの推進	1 情報セキュリティマネジメントの推進	すべての教職員が情報視線の重要性と取り扱いに係るリスクを正しく認識し、適切な情報セキュリティ管理を実施することにより、情報セキュリティ事故の発生を未然に防止する。
							共通	学校情報化優良校認定の取得